

下野の杜

特集 大東亜戦争終結八十年を迎えて

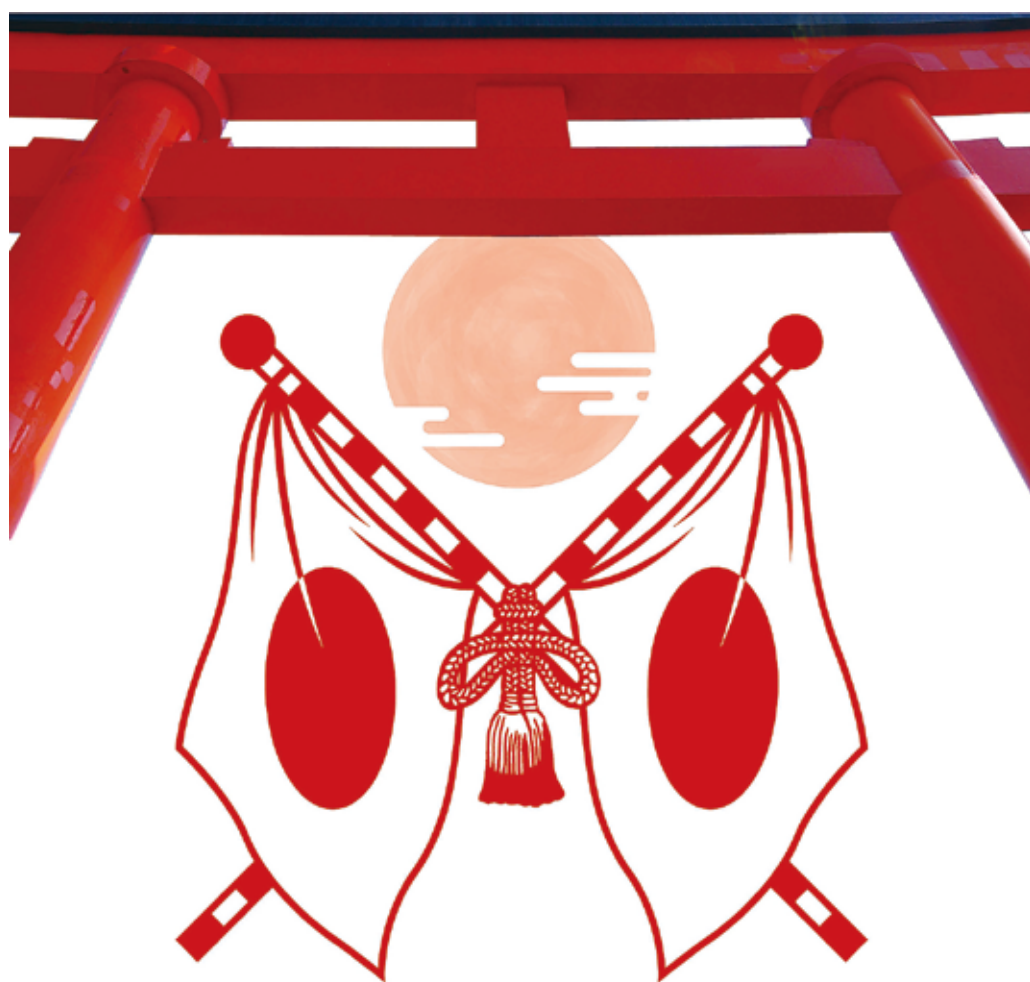


旅先に^ま出会ひし子らは語りたる
目見^ま輝かせ未来の夢を



令和7年6月4日、国立沖縄戦没者墓苑の慰霊碑に向かわれる天皇・皇后両陛下と敬宮殿下
(沖縄県糸満市・平和祈念公園)

季刊誌「皇室」107号（日本文化興隆財団企画・扶桑社刊）から転載 歌会始お題「夢」



国民の祝日は国旗を掲げましょう

● 元日	1月1日
● 成人の日	1月の第2月曜日
● 建国記念の日	2月11日
● 天皇誕生日	2月23日
● 春分の日	春分日
● 昭和の日	4月29日
● 憲法記念日	5月3日
● みどりの日	5月4日
● こどもの日	5月5日
● 海の日	7月の第3月曜日
● 山の日	8月11日
● 敬老の日	9月の第3月曜日
● 秋分の日	秋分日
● スポーツの日	10月の第2月曜日
● 文化の日	11月3日
● 勤労感謝の日	11月23日

栃木県神社庁
栃木県神社総代連合会

編集後記

本年は大東亜戦争終結八十年。今号では終戦八十年を迎えた特集を中心に編集作業を進めて参りました。栃木県護国神社稲宮司様には現状の想いをこ寄稿頂きました。栃木県神社庁教化委員会・栃木県青年神職むすび会の英霊顕彰事業を通じ、戦争体験者も僅かとなる昨今、戦争の悲惨さをそれぞれ一人一人が様々な地域で体験者から聞き取り、「平和の語り部」として次世代へ伝えていくことが我々の役目であると確信した年であったと存じます。

今期より三万年、教化委員会編集部門には精鋭が集結致しました。神社庁中鷹庁長を始め、諸先輩方の思いや希望を胸に、栃木県神社庁の広報誌として、県内神社の伝統文化の情報はもとより、今何が斯界に必要なのかを見定め、教化委員の皆さまと汗をかき、各神社・総代・氏子崇敬者の皆さまにタイムリーな教化発信をして参ります。宜しくお願い致します。

編集部門長 提著 照之

編集副部門長 滝口 貴史・越口 政典

部門委員 稲葉 成孝・稲 信子

阿部 汀・佐藤 実香

渡 伊吹・武内 聡史

菱沼 拓己

ホームページアドレス
<http://www.tochigi-jinjacho.or.jp>

祝祭日ポスターは栃木県神社庁ホームページよりダウンロードできます。